



# 帯広西ロータリークラブ 第2111回例会 2015.10.15 会報



■RI第2500地区テーマ■

もっとロータリーを楽しみましょう



■クラブ・テーマ■

大切な人にまごころを贈ろう

## 米山奨学生紹介

李卓様

## 会長報告

皆さんこんにちは。今月は、環境月間ということで土木工事の橋のリサイクルについてお話しします。平成8年に解体された、東洋一と言われた初代の十勝大橋は昭和15年、長さ369m、幅18mのコンクリート橋で当時としては新しいゲルバー工法を用いて、世界的な名橋と称賛されました。その後55年間、十勝の交通と産業を支え続けまだまだ活躍できましたが、堤防と堤防の間が狭いため、大雨のたびに流れにくくなっていました。そこで音更川の堤防を引いて、堤防の間を広げる「木野引堤事業」が行われることになり、平成7年に新しい十勝大橋が架けられました。そして平成8年に解体された旧橋に使用されていたコンクリートが16,500m<sup>3</sup>、重さにして42,000t。10tダンプ4,200台分です。鉄筋が1,450tでした。解体されたコンクリート16,500m<sup>3</sup>は再生砂利にリサイクルして十勝の道路工事で下層路盤材として再利用されました。

大友広明 会長



## 会務報告

- ①帯広西RC、10月29日(木)の例会は、休会と致します。
- ②帯広西RC、夜間例会開催のご案内  
日 時 10月22日(木) 午後6時30分  
場 所 北海道ホテル
- ③帯広西RC、旭川地区大会のご案内  
日 時 10月16・17日(土・日)  
場 所 旭川

太田 豊 幹事



## 出席優秀会員の表彰

大友広明 会長

- 出席100% 15年 本田美喜男 会員  
出席100% 10年 佐々木和彦 会員  
出席100% 10年 大友 広明 会長



## ニコニコ献金 小野辰夫 親睦活動委員会副委員長 大友 広明 会長

馬島会員の日本生命相互会社主催ゴルフコンペで準優勝しました。

深澤 知博 米山記念奨学委員長  
本日、担当例会宜しく申し上げます。

石原 英樹 会員

日生コンペで優勝しました。馬島さんありがとうございました。

馬島 正尚 会員

昨日は日生のゴルフコンペがあり、西クラブからたくさんの方が参加頂き有り難うございました。おおかたの賞品を西クラブの皆さんが獲得され、さすが西ロータリーの皆さんだと誇らしく、うれしく思いました。また次回もたくさん参加頂きたいと思えます。

河合 敏 会員

息子が大学でもアイスホッケーが出来るようになりました。追っかけ続けられます。

小野 辰夫 会員

昨日、娘が第一志望の大学より合格通知が届きました。頑張っしてほしいものです。



ニコニコ	10月15日	14,000円
献金	累計	290,240円 (10月15日現在)



会長 大友 広明 副会長 若林 剛 会場監督理事 飯田 正行 発行：広報委員会  
幹事 太田 豊 副会長 萱場 誠一 プログラム委員理事 松見 喜明 委員長 工藤 正宏 (副)伊東 肇



例会日/木曜日 12時30分~13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)  
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033



皆さん、こんにちは。本日は、岡田武稔会員に「米山記念奨学生カウンセラーの勧め」というテーマで講話をお願いしています。米山記念奨学事業は単に留学生に奨学金を授与することではなくて、世話クラブ・カウンセラーとの交流を通してロータリーの精神を学び、国際理解を深め日本と母国の架け橋となる人材を育てることが大きな目標となっています。後日封書にて米山の寄付をお願いしますが宜しくお願いします。それでは、岡田さんの講話をお聞きください。



## 「米山記念奨学生カウンセラーの勧め」 岡田 武稔 会員



皆さん、こんにちは。今月は米山月間ということで深澤委員長も頑張っています。「ロータリー米山記念奨学事業とは」公益法人ロータリー米山奨学会は、日本のロータリーが共同で運営する奨学財団で、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。「事業の使命」は将来、日本と世界を結ぶ架け橋となって活躍し、ロータリー運動のよき理解者となる人材を育成することです。「なぜ、外国人留学生支援なのか」というと日本ロータリー創始者、故米山梅吉の偉業を記念し、後世に残るような事業を立ち上げたいということです。米山梅吉(翁)さんは、1868年(慶応4年・明治元年)に東京の芝の和田家に生まれ、旧制沼津中学・銀座の江南学校・東京英和学校(現青山学院)を経て英語を学び、16歳で米山家の養子となり渡米、8年間の在米中2つの大学で法学を学び日本に帰国後、勝海舟に師事する。1897年三井銀行に入行。1909年常務取締役、1924年三井信託株式会社を創立し取締役社長に就任。1920年52歳の時に青山学院出身の馬島彦彦、万代順四郎らとともに日本初の東京ロータリークラブを設立した。晩年は財団法人三井報徳会会長、赤十字国際会議代表委員などを歴任し、紺綬褒章・勲四等瑞宝章などを受賞し1946年78歳で死去した。くしくもロータリー創設者ポール・ハリスと同じ年に生まれ、ポール・ハリス死去後1年たって亡くなっています。1952年、東京RCが発表したのは、海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する奨学事業「米山基金」の構想でした。そこには、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したいという、当時のロータリアンの強い願いがあったからです。「事業の大きさ」は年間700人の奨学生を採用し事業費は12億4000万円と、外国人留学生を対象とした民間の奨学金では最大規模です。これまで18,104人(2014年7月)の奨学生を支援し、その出身国は世界123の国に及びます。

私が西クラブに入ってから現在までダクシカスマナシリ(スリランカ)さん、チェ ヒヨン(韓国)さん、フォンタンロング(ベトナム)さん、スパシハレヌカミュリニ(スリランカ)さん、チャン・

バン(ベトナム)さん、カルナゴダカマルスリ(スリランカ)さん、劉 愛民(中国)さん、アロアロ・マルコスホアン(ペルー)さん、アメリカ・チナサラス(ペルー)さん、キャミングキートキャサリン(タイ)さん、李 卓(中国)さんまで11名の奨学生を西クラブでお世話してきました。「カウンセラーの勧め」ということですが、そのうちあしかけ3人(ダクシカスマナシリさん・フォンタンロングさん・チャンバンさん)のカウンセラーを引き受けたのですが非常に恵まれていて、実は来月の22日にベトナムで結婚式があります。フォンタンロングさん息子さんの結婚式で私の希望の日程に合わせてくれ、家内と2人で結婚式に出席することになっています。チケットから出入国・ホテルの手配など何から何までやってくれて、非常に感激しています。ベトナムには2回ほど行って今回で3回目ですが、フォンタンロングさんの故郷のフエにいけますが前回もよく来たよく来た非常に歓待されました。みんなに会うのが今から非常に楽しみです。また、スリランカのカルナゴダカマルスリさんの所へ行った時には、大学の中を自由に歩き回れるようフリーのバッジを発行してくれたり、スリランカに8つある自然遺産や世界遺産を案内してくれたり、非常に歓待してくれました。カウンセラーをすると財団より感謝状を頂けるのですが、この感謝状の持っている意味とこの中に秘められている友情のあかしは何事にも変えることのできない1枚だと思っています。わたしはこの感謝状を3枚持っています。これからの若い人たちは機会があればどんどんカウンセラーをやって、文化・宗教や政治体制からくる価値観の違いなどを身を以て体験できたのは、カウンセラーをさせてもらったためだと思います。寄付というと大変だなと思うだろうけれども、米山は、一般寄付と特別寄付で賄われていて、すべての財源はすべて奨学生のために使われていると聞いています。去年の川田ガバナー補佐から中央での「ロータリーの友」や米山財団の話をお聞きとますますロータリーが好きになったし、これからもみんな育てて今日のように李 卓さんと一緒に食事をして、みんなで笑って話をし、そして国へ帰る。それが本当の意味の国際交流の元になるのではないかと思います。米山に対し理解を頂ければ有難いし、最後にカウンセラーの機会があれば、率先して引き受け、お世話をしてくれれば良いと思います。